



アグリ情報 ちば



Agri Information CHIBA



千葉米食味コンクール表彰式を開催(1月26日千葉県農業会館)
詳細はP.13へ

私たち全農グループは、**生産者と消費者を**
安心で結ぶ懸け橋になります。



CONTENTS

食と農を未来へつなぐ。

- ・エコーマーク品消費拡大に向けた取り組みについて

宮農情報

- ・園芸野菜 病害虫防除情報

園芸情報

- ・販売経過および情勢

米穀情報

- ・米穀情勢

肥料情報

- ・元気な野菜づくりは健康な土づくりから

資材情報

- ・水田の水管理がすいぶん楽になった
～自動給水装置アクアポートを今年導入してみた生産者の声～

トピックス

- ・千葉県知事賞に金杉勝城さん、秋庭敬一さん
令和7年産千葉米食味コンクールを開催
- ・ひと足早い房総の春!
第46回 千葉県フラワーフェスティバル開催
- ・千葉県フェアの開催について ーいいきゅうりの日フェアー
- ・いちごのおいしさ研修会を開催!

全農

ZEN-NOH

食と農を未来へつなぐ。

JA全農ちばの取組状況

生活部

エコープマーク品

消費拡大に向けた取り組みについて

生活部はJAグループのプライベートブランドであるエコープマーク品の組合員への周知および消費拡大に取り組んでいます。

エコープマーク品とは、JAグループのプライベートブランドです。女性組織や青年組織等の組合員の意思を反映し、国産農畜産物の消費拡大につながる商品開発を行っており、国産農畜産物の優先使用や徹底的な品質管理、国内製造が主な特徴です。



《エコープマーク品消費拡大のために取り組んでいること》

1. 期間特売

期間特売とは、年に数回期間を設定し、「JAのおすすめ品」としてエコープマーク品を中心に選りすぐりの季節商品をJAの広報誌や折り込みチラシ等で組合員に紹介し提供しています。



2025年12～1月期の期間特売チラシ

2. 生活担当者研修会



新商品のエコープ丸細うどんを紹介する星野物産・稲岡氏

生活担当者研修会とは、年2回（8月、3月）JAの生活担当職員や直売所職員を対象として行う商品研修会です。エコープマーク品の食品・生活用品メーカーを講師として、旬の商品および新商品の説明を行います。JA職員のエコープマーク品に対する知識を深め、組合員への周知および消費拡大につなげるための研修会として開催しています。

3. インスタグラムへの投稿

JA全農ちばは、インスタグラムで情報発信を行っています。その一環として生活部では、月2回エコープマーク品を使用した料理のレシピと写真の投稿をしています。

家で簡単に作れる料理を基本とし、若い世代にもエコープマーク品の周知および消費拡大を目的とし発信しています。

インスタグラムの投稿内容は最終ページ右下のQRコードから確認できます。



令和7年11月の投稿（豆乳なべ焼きうどん）



直売所イベントの際の星野物産のラーメン試食販売の様子

4. イベント等での試食販売

県内JAにおける、農業祭や直売所のイベント等をサポートしています。

農業祭や直売所のイベントは組合員だけでなく、一般のお客さまも来場されるため、より多くの方にエコープマーク品を知っていただく機会となっています。



1. はじめに

2月は晴れの日が多くなる見込みですが、気象庁から平年より気温が低く推移する予報が出ております。低温による凍霜害等に注意しましょう。また、暖かくなってくるとアブラムシ・コナジラミ類等の害虫が徐々に発生し始めますので、圃場の確認をしっかりと行いましょう。

2. ジャガイモ（種いも消毒、圃場準備）

(1) 種いも準備

- ア. 種いもが届いたらすぐに開封しましょう。割れたり傷がついたりしないように扱きましょう。
- イ. 通気の良い、高温にならない場所に保管しましょう。湿気がこもらないように、ビニールシート等は被せないでください。
- ウ. 合格証票は発芽不良などが起こった際の事故処理に必要ですので、栽培終了まで大切に保管しましょう。

(2) 種いも消毒（そうか病、黒あざ病対策）

種いも切断と併せて行いましょう。種いも切断は植え付け1～2日前に40gを目安に、2～3個の芽が残るよう切断しましょう。腐敗防止のために、切断後は日陰で切り口を乾かしてください。

ア. 粉衣処理の場合（種いも切断後に処理）

バリダシン粉剤DL：種いも重量の0.3%を粉衣する。種いも20kgであれば60g。
（植付前・黒あざ病で登録）

イ. 浸漬処理の場合（種いも切断前に処理。切断後、萌芽後では薬害のリスクあり）

アタッキン水和剤：40倍液に5～10秒間種いも浸漬を行う。また処理後は風通しの良い場所で乾燥させる。（植付前・黒あざ病、黒あし病、そうか病で登録）。

(3) 圃場防除薬剤（そうか病、粉状そうか病対策）

ア. 土壌消毒剤

【ポリ・ビニールで被覆し、十分な被覆期間を置く。クロルピクリン剤は被覆必須】

- ① クロルピクリン剤（クロールピクリン等）：1穴 2～3ml（圃場）
- ② ガスタード微粒剤（バスアミド微粒剤）：20～30kg/10a・植付21日前まで

イ. 土壌処理殺菌剤 【粉状そうか・そうか病登録】

- ① フロンサイド粉剤：30～40kg/10a・植付前・全面土壌混和・1回
- ② ネビジン粉剤：60kg/10a・植付時・全面土壌混和・1回

3. いちご（アザミウマ類・うどんこ病）

(1) アザミウマ類

今後、アザミウマ類の発生が多く予想されています。いちごでは主にヒラズハナアザミウマが発生し、花部を中心に寄生します。果実表面を食害されると表面のツヤが無くなり、硬化してしまいます（下写真参照）。成虫は100個前後産卵し、サナギになると一度土中に潜り込み、成虫になると地上へ出てきて1か月以上生存します。早期発見に努めて、発生初期からのローテーション防除を行いましょう。



ヒラズハナアザミウマ成虫



食害により硬化した果実



●いちご アザミウマ類 防除薬剤

IRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数
4A	モスピラン顆粒水溶剤	2000		2回以内
5	スピノエース顆粒水和剤	5000	収穫前日 まで	2回以内
	ディアナSC	2500~5000		2回以内
30	グレーシア乳剤	2000		2回以内

注意：天敵への影響日数については別途ご確認ください

(2) うどんこ病

いちごのうどんこ病は、はじめ葉裏から発生することが多く、感染が拡大すると葉表や葉柄、果実にも被害が及びます。菌の活動適温は20℃前後で、乾燥と多湿の繰り返しを好み、水滴は胞子を破裂させます。胞子の発芽適温は17~20℃前後で、空中を飛散して広がります。**開花結実期に発病すると被害が大きくなるため、予防主体の徹底した防除を行いましょう。**



葉および果実に発生したうどんこ病

●いちご うどんこ病 防除薬剤

FRAC コード	薬剤名	希釈倍数	使用時期	使用回数	備考
3	トリフミン水和剤	3000~5000		5回以内	予防・治療
50	クロスアウトフロアブル	3000~4000		3回以内	治療
M7	ベルコートフロアブル	2000~4000	収穫前日 まで	5回以内	予防
7	ケンジャフロアブル	1500		3回以内	予防
9	フルピカフロアブル※1	2000~3000		3回以内	予防
9+U13	ショウチノスケフロアブル※1	2000		2回以内	予防・治療

※1 フルピカとショウチノスケは同成分を含むため成分総使用回数に注意（合わせて3回以内）

4. コナジラミ類（苗床：トマト・きゅうり）

近年、県内でコナジラミ類が媒介するウイルス病（トマト：黄化葉巻病、ウリ科：退緑黄化病）の発生が見られます。育苗～定植までに発生すると被害が大きくなりますので、初期防除を実施しましょう。

(1) 耕種的防除

ア. コナジラミ類は風により飛来してきますので、防虫ネットを展張しましょう。天窗への展張も必要です。0.4mm目合いが効果上は望ましいですが、通気性が低くなるため、全面に展張できない場合は風上や入り口側に使用する方法も有効です。

イ. 施設内・周囲の雑草除去を行いましょう。ハウス付近では、花き等の害虫が集まりやすい作物の栽培は避けましょう。

ウ. 育苗期～定植初期における粒剤または灌注処理剤による防除を実施ましょう。主にネオニコチノイド系かジアミド系の薬剤、またはそれらの混合剤が選択されます。

登録によりますが、使用時期は ①育苗期後半（鉢上げ後など）⇒定植段階での2回処理、②定植段階の1回処理のパターンがあります。過去に発生があった等、重点的な防除が必要ならば2回の処理を選択ましょう。各薬剤は根から薬剤が吸収され効果を発揮ましますので、**粒剤は土壤水分に、灌注処理は吸収されるまでの時間が確保できるよう注意ましょう。**

(2) コナジラミ類登録があり、果菜類で育苗～定植までに選択可能な主な粒剤・灌注処理剤

※登録詳細は作物ごとにご確認をお願いいたします。

IRAC コード	薬剤名（剤型略）	備 考	用 途		登録の有無※	
			粒 剤	苗灌注	トマト	きゅうり
4A	スタークル粒剤	コナジラミ 対策の主要剤	○		有	有
	ベストガード粒剤		○		有	有
	モスピラン粒剤		○		有 (定植段階)	無し
28	プリロツソ粒剤オメガ	同じ成分。散布剤は ベネビアとして販売	○		有	有
	ベリマークSC			○	有	有
4A + 28	ミネクトデュオ粒剤	プリロツソ+ アクタラ	○		有 (鉢上げ時～ 育苗期後半)	有 (鉢上げ時～ 育苗期後半)

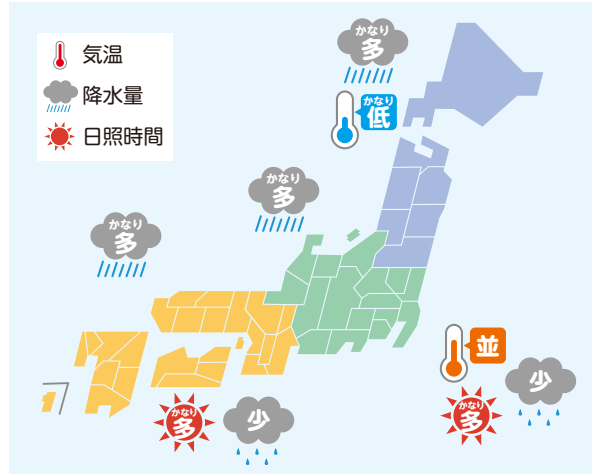
※定植段階は、定植前日・当日・直前等の定植作業に合わせて使用する登録のみを持つことを示す

園芸情報

販売経過および情勢

青果物 1月の販売経過

1月の気温は、日本海側を中心に寒気の影響を受け、北日本日本海側でかなり低かったものの東日本太平洋側では平年並みとなりました。降水量は、冬型の気圧配置から日本海側でかなり多くなったものの、東・西日本太平洋側で少なくなりました。日照時間は、高気圧に覆われた日が続いた東・西日本太平洋側でかなり多くなりました。



【野菜】 東京都中央卸売市場の野菜の入荷量は102,193 tと前年を上回りました。低温・干ばつが続いたもののキャベツ、白菜が大幅に増加し、だいこん、レタス、ねぎも前年を上回りました。一方で小玉傾向のたまねぎが前年を下回りました。価格は年初から荷動きが落ち着き290円/kgと下げ基調で推移しました。

【果実】 同市場の果実全体の入荷量は28,834 tと前年を上回りました。

みかん類は豊作傾向で前年を大幅に上回り、いちご類も年明けから数量がまとまり前年を上回りました。一方でりんご類は入荷量が落ち着き前年を下回りました。価格は果実全体で597円/kgと前年を下回りました。

※東京都中央卸売市場統計データによる

東京都中央卸売市場の野菜・果実入荷量および単価（1月）

	数 量		単 価	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)
野 菜	102,193	106.6	290	81.1
果 実	28,834	115.0	597	79.7

JA全農ちばの販売状況（1月）

	数 量		単 価		取 扱 額	
	(t)	前年比 (%)	(円/kg)	前年比 (%)	(百万円)	前年比 (%)
野 菜 計	35,375	117.8	158	68.8	5,578	81.1
果 実 計	201	124.8	1,567	95.9	315	119.6
だいこん	10,560	119.8	68	55.9	713	66.9
にんじん	8,564	121.4	140	78.9	1,199	95.7
キャベツ	6,869	130.7	81	36.3	555	47.4
さつまいも	2,833	102.7	237	99.5	670	102.2
ね ぎ	1,919	120.5	354	74.2	679	89.4
きゅうり	1,348	95.9	432	102.4	582	98.2
レ タ ス	732	106.2	233	56.3	171	59.8
ト マ ト	341	133.7	386	92.8	132	124.1
ほうれん草	148	104.3	396	74.0	59	77.2
な ば な	127	143.4	735	69.0	93	98.9
春 菊	119	91.7	881	101.4	105	93.0
パ セ リ	24	121.5	1,001	48.9	24	59.5
い ち ご	201	124.4	1,571	96.1	315	119.5

2月主要品目 作付動向・作柄状況

見通し基準（前年対比）	
多・高	+10%以上
やや多・やや高	+5%～10%
並	±5%以内
やや少・やや安	-5%～10%
少・安	-10%以上

入荷量・価格は
東京都中央卸売
市場の集計です

品目	入荷量 (t)		単価(円/kg)		主産地	作柄および概況
	当年見通し	前年実績	当年見通し	前年実績		
キャベツ	多	11,165	安	196	愛知 千葉 神奈川	各産地とも生育は概ね順調。入荷量は小玉傾向で少なかった前年を上回る見込み。輸入の増加に伴い業務需要は落ち着き、単価は堅調な販売となった前年を下回る見込み
だいこん	並	8,458	安	123	千葉 神奈川	トンネルへの切り替え時期であるため、出荷量は徐々に落ち着く見通し。販売環境は青果物全体的に厳しく、出荷量次第だが価格は上向くも大幅な上昇は厳しい見込み。
にんじん	やや多	4,561	やや安	216	千葉	お盆後播種分の肥大は概ね良好のため少なかった前年は上回る出荷量となる見込み。販売では、量販店での荷動きは鈍く高値であった前年は下回る価格となる見込み。
トマト	並	4,156	並	434	熊本 栃木 愛知	各産地で春作の生育は順調に進んでおり、前年並みの出荷が見込まれる。販売は下旬以降の気温の上昇から春商材としての需要が高まり、荷動きの活発化が期待される。
きゅうり	並	3,823	並	480	宮崎 千葉 群馬	西南暖地・千葉の越冬作が中心。気温は低いが、晴天が続き十分な日照があるため安定した出荷となっている。入荷は前年並みとなり、価格も前年並みを見込む。
ねぎ	多	3,463	安	502	千葉 埼玉 茨城	各産地とも生育良好により肥大が進み、太物傾向の出荷から前年を上回る見込み。価格は、小売店・量販店の荷動きが鈍く、前年を下回る見込み。
ほうれん草	やや多	1,394	やや安	563	群馬 茨城 馬城	一部地域では寒さで生育が緩慢だが、少ない前年は上回る出荷量となる見込み。他葉物類も順調な出荷となっており、販売は苦しく前年を下回る価格となる見込み。
パセリ	やや多	33	やや安	1,191	千葉 静岡 岡山	主力産地の生育は概ね順調のため、前年を上回る出荷量となる見込み。洋菜類全般に軟調傾向のため、パセリも販売は苦しく前年を下回る価格となる見込み。
春菊	やや多	213	やや安	754	千葉 栃木 茨城	他品目の作業等により、総入荷量は1月より減少するが、良好な天候から後作の生育も順調であり、前年を上回る入荷が予想され、価格は前年を下回る見込み。
レタス	やや多	4,210	安	269	静岡 茨城 岡山	前年に比べて作柄良好。入荷量は低温干ばつの影響を受け中旬まで多くない見込み。下旬以降に茨城が増量し軟調な販売展開が予想され、価格は前年を下回る見込み。
なばな	多	257	安	1098	千葉 徳島	低温と乾燥により生育停滞が続く。病害虫の発生はなく、降雨次第では中旬頃から増加となる見込み。下旬から節節に向けた注文が増加し堅調な販売展開が見込まれる。
さつまいも	やや多	3,088	やや安	261	千葉 茨城	作付面積の増加に加えて作柄も概ね良好のため、前年をやや上回る入荷量を見込む。他品目の売り場が広がり、量販店での販売が鈍く、前年をやや下回る価格を見込む。
いちご	並	4,592	並	1,669	栃木 茨城	各産地で2番果の出荷が本格化し、順調な出荷が見込まれる。価格を徐々に下げた販売となるが、下旬以降はひな祭り需要に向けて引き合いが強まる見込み。

花 販売情勢

◆1月の販売経過【切花】

前年については、年内から生育遅れが続いている品目が散見されたため、平年を下回る出荷量となり、品薄単価高での販売となりました。

本年は、洋花市を挟まずの初市となったため、年末年始分の出荷が纏まり、品目によっては潤沢な入荷となりました。しかし、例年通り輸入品の入荷量は少なく、カーネーション等の品目では品薄となり堅調な販売となりました。初市以降は、産地毎の出荷開始日のバラツキや天候不順の影響などから不安定な入荷状況となり、週末には成人式需要もあったため、上旬は安定した販売が続きました。中旬以降は、天候も安定したため、関東近在中心に安定した入荷となる品目が多く見られ、大きなイベント・行事等の需要も無かったことから、落ち着いた荷動きとなりました。

◆今後の見通し（3月）【切花】

3月は桃の節句から始まり、卒業式や歓送迎会、春の彼岸と花き類が利用される行事が多いことから、和花・洋花ともに需要最盛期となり、活発な取引がされる月となります。

本年においては、近年気温の上昇が早く、生育が前進する傾向にあるため、出荷前進となれば彼岸需要期に不足感が出るのが懸念されます。販売については、物価高の影響から、一般消費の動きが鈍い状況が続いているものの、行事・イベントが多いため月を通しての一定の荷動きは見られる見込みです。



◆今後の見通し（3月）【品目別】

品 目	作 柄 お よ び 概 況
ス ト ッ ク	千葉を中心に愛知などからの出荷。 年内は生育遅れが見られたものの、1月の天気が安定したことから生育は順調であり、安定した出荷となる見込み。 彼岸、年度末需要を中心とした販売となる見込み。
きんせんか	千葉を中心とした出荷。 作付面積は減少しているものの、生育は順調であるため平年並みの出荷となる見込み。 彼岸需要を中心とした販売となる見込み。
カーネーション	千葉・愛知・長崎・静岡などからの出荷。 一部産地では生育遅れが見られるものの、概ね生育が順調に推移している産地が多いことから、出荷量は平年並みになる見込み。 卒業式や歓送迎会需要を中心とした販売となる見込み。
きんぎょそう	千葉・埼玉・群馬などからの出荷。 一部産地ではやや生育が前進しているものの、他産地については順調な生育となっていることから、出荷量は安定する見込み。 宴会、歓送迎会需要を中心とした販売となる見込み。

米穀情報

米 穀 情 勢

1. 都道府県別 8 年産主食用米生産目安の設定状況について

各都道府県の再生協が設定した8年産主食用米の生産目安を積み上げた数量は、全国で約724万トンとなっています。多くの産地は、7年産生産実績を下回る目安を設定しているものの、食糧部会で設定された8年産生産目安711万トンに対しては上回る見通しとなっております。

さらに、各産地で主食用米増産意欲が高まれば、生産目安以上に生産量が増加する可能性もあります。昨今の米販売状況を鑑みると、一層需給緩和が進むこととも懸念されます。

【図表 1】主産地の 8 年産主食用米生産目安

都道府県	8年産の目安		7年産生産実績		8年産目安と7年産生産実績との増減	
	数量【トン】	面積【ha】	数量【トン】	面積【ha】	数量【トン】	面積【ha】
	①	②	③	④	①-③	②-④
北海道	520,737	89,644	495,500	87,300	25,237	2,344
宮 城	344,321	62,422	363,100	65,300	▲ 18,779	▲ 2,878
秋 田	428,000	74,177	477,500	81,200	▲ 49,500	▲ 7,023
山 形	334,900	55,539	349,500	57,100	▲ 14,600	▲ 1,561
福 島	376,540	67,000	381,900	67,000	▲ 5,360	0
茨 城	347,744	64,999	352,800	66,700	▲ 5,056	▲ 1,701
栃 木	285,242	52,388	316,600	58,100	▲ 31,358	▲ 5,712
千 葉	273,237	49,770	295,800	53,100	▲ 22,563	▲ 3,330
新 潟	562,000	103,700	588,600	108,600	▲ 26,600	▲ 4,900
全国計(参考)	7,244,379	1,342,633	7,468,000	1,367,000	▲ 223,621	▲ 24,367

2. 外国産米の動向について

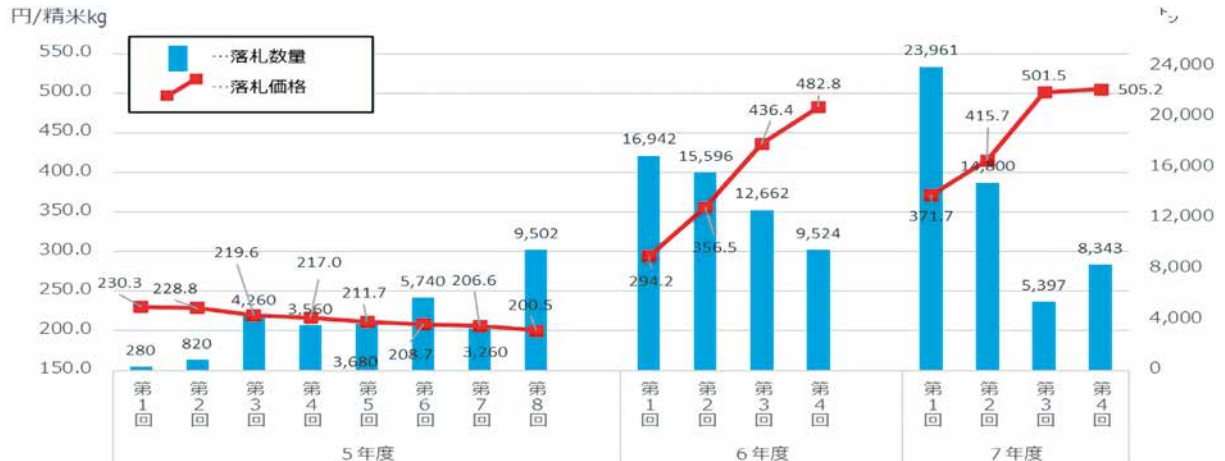
令民間貿易による米の輸入量は、7年12月時点で累計9万7千トンあり、例年の100倍程度となっています。

また、7年度のSBS入札は例年より前倒して実施され、第4回（7年11月）までに契約予定数量全量の10万トンが落札されています。なお、カルローズの落札平均価格は372円～505円（港渡、精米kgあたり）となっています。

【図表 2】民間貿易による米の月別輸入量

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
2022年	14	134	94	71	45	72	46
2023年	74	22	89	53	12	144	52
2024年	49	59	79	13	115	58	124
2025年	414	489	1,280	6,838	10,607	20,979	26,392
年	8月	9月	10月	11月	12月	合計	
2022年	72	70	80	33	99	830	
2023年	26	45	53	37	121	727	
2024年	64	41	93	202	118	1,014	
2025年	15,168	6,534	1,475	2,787	3,866	96,829	

【図表 3】SBS落札結果（US産うるち精米中粒種）



3. 水稻の育苗技術の基本 ～健苗を育てるための6つのポイント～

準備 ⇨ 種子消毒 ⇨ 浸種 ⇨ 催芽 ⇨ は種 ⇨ 出芽 ⇨ 緑化 ⇨ 硬化 ⇨ 田植え

水稻の苗作りは「**苗半作**」と言われるほど重要です。育苗期の気象は、年により変わるので『**いつもどおり**』ではなく、**今年の気象に合わせた栽培管理**を行い、健全な苗を育てましょう！近年の天候や昨年状況をふまえて育苗の基本や注意点を千葉県・千葉米改良協会・全農千葉県本部で協力して見直しました。改めてご確認をお願いします。

ポイント1 育苗箱や浸種容器等の消毒

- 育苗箱や浸種容器などは、あらかじめ洗浄し、使用前に消毒してください



JA全農ちば営農技術情報
種もみ種子消毒
VTR
種子消毒について、
解説した動画です。
作業前に要チェック

ポイント2 種子消毒を確実に！（自家採種の場合は、必ず塩水選をしましょう）

- 発病後の治療は難しいので、予防のため必ず種子消毒を行います
- 所定濃度で十分な量の薬液を用意し、**薬液水温は10℃以上15℃以下に保ちます**
↳ 水温が10℃未満になると薬剤の効果が不安定になる
- 効果ムラを防ぐため、種子袋を薬液の中で十分ゆすって中の気泡を追い出します

確認しましょう！

種粉4kgの容量は約8リットルなので、
粉と薬液の容量比は1:1以上⇨重量比では1:2程度です

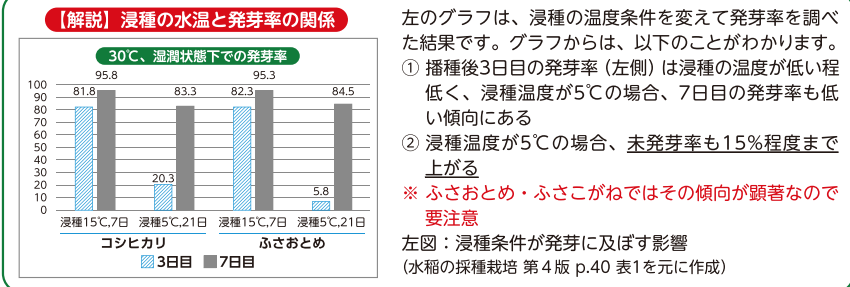


ポイント3 浸種の温度は10℃～15℃で！

- 浸種時の**水温が10℃未満になると、出芽の不揃いを招く**とともに、**発芽率自体も低下**する恐れがあります
- 浸種時の水温が**20℃以上になると、細菌性病害の発生が助長**され、また、発芽が早まり、芽が伸び過ぎる恐れがあります
- 化学合成農薬による種子消毒を行った場合は、浸種開始して3日目から水交換を開始します
- 浸種の終了の目安は、**籾殻全体が透き通って銚色になり、胚部分が白く見える頃**（左下写真参照）です

浸種期間の目安：10℃×10日～15℃×7日（積算水温100℃が目安）

※ふさおとめ、ふさこがねは少し長めの浸種が必要
（水温10℃で12日、積算水温120℃が目安）



低温期のポイント

- 水温が低下する夜間は保温シート等を被せるなどして、水温の低下を防ぎましょう
- 浸種初日にお湯を入れる等により水温を15℃にした後に、浸種桶を保温シートや毛布等でくるんで保温すると、温度が持続しやすいです
- テクリードCフロアブル、モミガードC・DFを処理した種子を水温10℃未満で浸種すると、催芽や出芽が遅延、抑制される場合があるため、浸種時は水温10℃以上を確保しましょう
- ふさおとめ・ふさこがねは、低水温による発芽不揃いになりやすいので注意が必要です
- 低温貯蔵種子は、水温が10℃未満になると出芽率が低下することがあるので、特に注意が必要です

気温が高い時期のポイント

- 水温15℃以上では、発芽が始まり、催芽ムラの原因となるので、4月中旬以降の浸種では温度管理に気をつけましょう
- 水温20℃以上では、細菌性病害の発生を助長します。細菌数を少なくするため、3日目から1日1回は水の交換を行いましょう
- 天気の良い日は必ず日中の水温を測り、高い場合は遮光や換気により温度調節を行います



準備 ⇨ 種子消毒 ⇨ 浸種 ⇨ **催芽** ⇨ **は種** ⇨ **出芽** ⇨ **緑化** ⇨ **硬化** ⇨ 田植え

ポイント4 催芽は確実に30℃（水温又は気温）で実施！

- ・出芽を揃えるため、浸種した籾は、育苗器や催芽器を用いて **30℃で16～20時間**を目安に加温し、**ハト胸状態（幼芽長が1mm）になったら終了**です
- ・催芽籾は、播種しやすいように陰干しするか軽く脱水します
- ・32℃以上の高温は、細菌病の発生リスクが高まります

催芽籾（ハト胸状態）



ポイント5 は種時には、培土に薬剤を処理して病害を予防しましょう！

- ・は種時（覆土前、覆土時等）には薬剤を処理し、糸状菌（カビ）による苗立枯病や、「もみ枯細菌苗」や「苗立枯細菌病」などの病害を予防しましょう

播種日を決めるときのポイント

- ・平置き出芽する場合、育苗ハウス内の温度の確保が重要です
- ・低温期の場合、は種を行う日は天候の良い日を選ぶとハウス内の温度を確保しやすいです



ポイント6 は種後～緑化期は床土温度のこまめな確認で適正温度に！

- ・ハウス内の温度よりも、**種子や苗のある遮光シートの内部や床土の温度に注意**します
- 細菌性病害の発生予防のために、床土の温度を30℃より高くしないようにしましょう
- 平置き育苗では、被覆資材によって出芽などに与える影響が違いますので、資材の特徴を確認し、資材に合った管理をしましょう

育苗成功のポイント！

育苗ハウスの換気方法や使用する被覆シート種類で育苗を失敗する事例は多く、いつも通りではなく、その年に合った管理が必要です！

出芽時の温度計の置き方



被覆シート内の育苗床土の温度を測ります

播種後の温度管理のポイント（稚苗）

	出芽（床土の温度）		緑化 （被覆内の気温）	硬化 （ハウス内の気温）
	加温出芽	無加温出芽		
日数の目安	2日	5日前後	2～4日	15～20日
温度	昼	30℃	20～30℃	20～25℃
	夜	30℃	10～20℃	15℃前後

【注意】 種子に割れ籾（開穎籾）が含まれている場合は、温湯消毒を避け、化学合成農薬または微生物農薬による種子消毒を行ってください

- ◆割れ籾とは …… 出穂前の低温や日照不足などにより穎（籾殻）が小さくなり、その後の天候回復により肥大した玄米と穎（籾殻）の大きさがアンバランスとなり、籾の隙間から玄米が見えたり、籾殻が脱落して玄米の状態になったもの
- ◆割れ籾は温湯消毒の設定温度が数℃上がるだけで発芽率が著しく低下します（右下図参照）
- ◆温湯消毒を行わざるを得ない場合は、以下のポイントを遵守してください

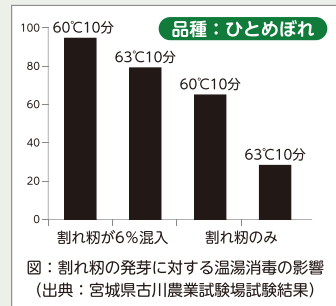


ポイント1 温湯消毒は、適切な浸漬水温・時間を厳守してください

温湯消毒は、種籾1kg当たり20リットル以上の湯（60℃）を用意し、種籾を正確に10分間浸漬します。処理後は速やかに冷水中で冷やします。

ポイント2 は種は薄まきを避け、標準は種量で行ってください

「ふさおとめ」やもち品種は温湯消毒により発芽率が低下する場合がありますので、標準は種量の上限量を目安には種してください。
（標準は種量（稚苗）：1箱当たり乾籾130～150g）



肥料情報

元気な野菜づくりは健康な土づくりから

POINT!



土づくりは作物が健全に生育するための土壌環境を整える効果があります。

土作りで期待される効果

その1. 保肥力の向上

肥料成分を保持する力を高めます。

その2. 土壌微生物の多様化

微生物が増加し、有機物分解が活性化します。

また、土壌病害の予防にも効果があるといわれています。

その3. 品質・収量の安定化

土壌環境を一定に保つ力が高まるので、品質・収量の安定につながります。

おすすめ資材



マルチサポート1号

苦土・微量元素の欠乏症予防・生育促進。
りん酸と相乗作用があり、お互いに作物への吸収を高める効果があります。



苦土重焼燐

定植から収穫後期まで安定的にリン酸を必要とするため、く溶性と水溶性を併せ持つ「苦土重焼燐」が最適です。



レオグリーン特号

パーク堆肥、米ぬか、魚粕、腐植酸を配合した濃縮ペレット堆肥。
機械施肥にも対応。



フミカルアップ

腐植酸 + Ca を補給し、根張り、保肥力の向上やCa欠乏の対策に！
ペレット加工により機械施肥にも対応。



ストロングバランス

カルシウムベースのミネラル肥料。吸収効率が高い水溶性カルシウムを含み、土壌酸性の改良や苦土・微量元素の補給までこれ一つで完結します。



石灰窒素

肥料・農薬・土づくりを同時にできる多機能資材。緩効性窒素肥料、カルシウムの補給、腐熟促進、酸度矯正、殺虫、殺菌、除草効果等。

肥料は土とよく混合しましょう！



施肥ムラとそれともなう生育のばらつきが無いように均一に！



詳しい使い方については千葉県指導機関または最寄りのJAにお問い合わせください

資材情報

水田の水管理がずいぶん楽になった

～自動給水装置アクアポートを今年導入してみた生産者の声～

1. アクアポートとは

アクアポート（Aquaport）は、水田の水管理の負担を軽減することを目的とした**自動給水装置**です。

上限用・下限用の2つのセンサーで水位を感知し、水口から自動で給止水を行います。

※開放水路専用の製品のため、パイプライン圃場では原則使用できません。

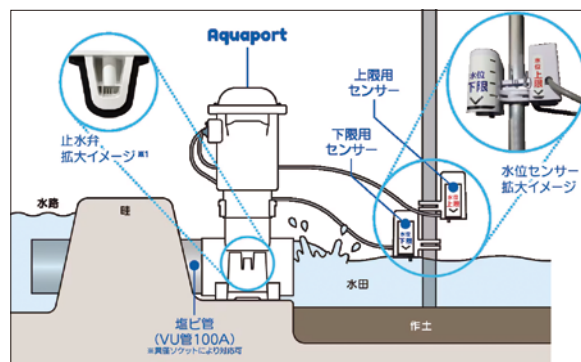


2. 特徴

簡単設置：塩ビ管（VU管100A）に接続するだけで設置が完了します。

高い防水性：あらゆる方向からの、噴流水に耐えられる防水性能、防塵性能を持ちます。（IP65相当）

電池駆動：単一アルカリ乾電池4本で1シーズン（約半年）稼働します。※通信機能はありません。



3. 生産者の声

昨シーズンアクアポートを導入いただいた長田英二さん、長田晃季さんにお話を伺いました！

（JAきみつ 小糸経済センター管内）

Q. アクアポート導入のきっかけは？

管理する田んぼが増えてきており大通りを往復することが面倒になり導入を検討していた。また、田んぼがバイパスの左右にあり、バイパスを横断する際も危険が伴うため、作業性をよくするために導入した。

Q. 導入前の不安は？

水路にアクアポートを取り付けられるかが一番不安だった。後は盗難リスク。それと、当たり前のことだが水路を止められてしまったら水が入らなくなるからそこが不安だった。

Q. 導入してみてどうだったか？

1日水が持たない田んぼは今まで頻繁に見に行っていたが、それがなくなりずいぶん楽になった。車から降りずに確認できるのは良い。今まで水が上手く管理できず除草剤がうまく効かず草が生えてしまっていたがアクアポートを設置したら本当に草が出なくなったし、シンプルでわかりやすく便利。センサーにゴミが詰まらないように点検は必要だが、掃除すれば問題ないため、導入して本当によかった。

Q. 苦労したことは？

設置の際は、水路が壊れているところは修復するのが大変だった。この地区は、地下水が多いから藻が出やすく、センサーに藻がついて誤作動する。でもメーカーの人にセンサーの周りに網を設置すればいいと教えてもらった。それでも定期的に掃除は必要かも。

Q. これから自動給水機の導入を検討されている方に

自分に時間があって100点の水管理ができるのであれば使う必要はない。60点70点でも補助をしてくれればと思う人とか、入れ忘れを防ぎたい人とかタイマーに水を止めにくい人にはいいと思う。

★設置事例等詳細は下記のURLまたはQRコードからご覧いただけます★

北菱電興 アクアポート <https://aquaport.jp/>



お問い合わせはお気軽に最寄りのJAまたはJA全農ちば資材課（043-245-7379）へご連絡ください

TOPICS

千葉県知事賞に金杉勝城さん、秋庭敬一さん 令和7年産千葉米食味コンクールを開催



J A全農ちばは千葉県、千葉県産米需要拡大推進協議会と連携して「令和7年産千葉米食味コンクール」を行い、1月26日に千葉県農業会館で表彰式を開催しました。

今年で11回目を迎えた同コンクールは、千葉県産米の品質向上、生産者の生産意欲増進とPRが目的。

出品された米は、いずれも千葉県の生産者が消費者に美味しい米を届けたいという想いを込め、日々の生産管理を徹底し手塩にかけて育てた自慢の逸品です。県内16J Aからコシヒカリ54点、11J Aから粒すけ27点、全17J A計81点の応募があり、各部門ともに上位4名の出品米が一次・二次審査を通過しました。

12月22日に開かれた最終審査会では、有識者（米・食味鑑定士やお米マイスター等、資格を持つ米穀専門家ら）8名が審査を実施。コシヒカリ部門でJ Aちばみどり管内の金杉勝城さん、粒すけ部門でJ A山武郡市管内の秋庭敬一さんが最高位の千葉県知事賞に輝きました。

1月26日の表彰式に出席したJ A全農ちばの松元善一運営委員会会長は「8年産では、需給環境が大きく変化する中、消費者から継続して選ばれる千葉米でありつづけるためにも、

＜コシヒカリ部門＞			
成績	J A名	市町村	生産者名
千葉県知事賞	ちばみどり	匝瑳市	金杉 勝城
運営委員会会長賞	長生	睦沢町	武井 克嘉
運営委員会副会長賞	山武郡市	山武市	神尾 典夫
県本部長賞	いすみ	勝浦市	岩瀬 智彦

＜粒すけ部門＞			
成績	J A名	市町村	生産者名
千葉県知事賞	山武郡市	山武市	秋庭 敬一
運営委員会会長賞	安房	南房総市	野口 誠
運営委員会副会長賞	長生	一宮町	室川 典弘
県本部長賞	ちばみどり	匝瑳市	宇野 光正

品質と食味の維持向上をすすめることが重要と考えます。J A全農ちばとして、引き続き良品質・良食味米生産のため、生産現場への情報発信を行うとともに、県関係団体と一体となった千葉米消費拡大を積極的にすすめてまいります。」と今後の展開とともに激励の言葉を贈りました。

受賞者の皆さまには、千葉米の食味向上の牽引者として、今後とも日頃の研究や経験により良食味米生産に取り組まれることが望まれます。

TOPICS

ひと足早い房総の春！ 第46回 千葉県フラワーフェスティバル開催



J A全農ちばは1月15日(木)～18日(日)、そごう千葉店6階催事場にて“ひと足早い房総の春を告げる花の祭典”として開催された「第46回千葉県フラワーフェスティバル」に協賛しました。

フェスティバルに際し、県内生産者が愛情を注いで育て上げた花々337点の出品がありました。審査は、花き卸売市場や小売店等の流通関係者、千葉県（農林総合研究センター、農業事務所）の専門家による厳正な審査が行われ、特別賞30点、金賞52点が各賞を受賞しました。開催期間中は、千葉県マスコットキャラクター「チーバくん」をモチーフにした作品などの展示や販売、出品された展示物の販売、ワークショップが行われ、華やかで活気ある祭典となりました。主な審査の結果は次のとおりです。（敬称略）

賞名	部門名	品目名	品種名	受賞者名	所属組合(団体)名
農林水産大臣賞	洋らん	ファレノプシス	アンティーク	加藤 英世	千葉県洋らん生産者組合
農林水産省農産局長賞	切花1	ストック	マリンカルテット	鈴木 啓之	J A安房花卉部 神戸支部
全国農業協同組合連合会千葉県本部長賞	切花1	きんせんか	オレンジスター	宇山 久男	J A安房花卉部 白浜支部

当日の様子ははこちらから

<https://www.zennoh.or.jp/cb/topics/2026/108007.html>



TOPICS

千葉県フェアの開催について

— いいきゅうりの日フェア —



澤光青果「いいきゅうりの日フェア」の様子



試食で提供した「きゅうりのペペロンチーノ」

ＪＡ全農ちばは千葉県産越冬きゅうりの出荷本格化に伴い、厳寒期の消費と販売量拡大を目的に消費宣伝を実施しました。開催日は「いい(1)きゅう(9)り」の語呂合わせにちなんで1月19日(月)～20日(火)とし、卸売市場と連携のもと都内および県内の澤光青果3店舗とダイエー2店舗にて実施しました。

冷え込みが強くなる中、温かいメニューで消費喚起に繋げるべくきゅうりの炒め物（ペペロンチーノ）を試食で提供しました。きゅうりの炒め物は聞き馴染みが少ないこともあり特に若いお客さまに好評で、作り方を試食販売員に尋ねる様子も見られました。売価も値ごろ感があり、冷え込みでサラダ需要の落ち込む時期としては好調な売れ行きとなりました。

ＪＡ全農ちばは引き続き関係機関と協力し、千葉県産青果物の消費拡大を図るため販売促進活動をすすめてまいります。

TOPICS

いちごのおいしさ研修会を開催！

主催：千葉県



一つ一つに個性が光ります



香りもしっかりと調査しました



糖度・酸度のバランスを確認する参加者の皆さま

ＪＡ全農ちばは1月29日(木)、千葉県および千葉県いちご組合連合会、(公社)千葉県園芸協会と協力し、「いちごのおいしさ研修会」を開催し、いちご生産者および関係機関の計76名が参加しました。

近年、県内各地でいちごの新規生産者が増えており、技術面や経営面で共通の課題を抱えています。この研修会では、県内の新規生産者が一堂に会していちごのおいしさに関する知識の習得を図り、自身の経営改善への刺激やヒントを得ることや人とのつながりを持つことでより広い視野で将来の経営発展へすすめるよう企画されたものです。

参加した生産者は、自身が栽培したサンプルのいちご果実を持ち寄り、おいさを客観的に解析するための官能調査および品質の調査を行いました。生産者名は伏せた状態で香り・硬さ・甘さ・酸味・総合評価を5段階で記入し、どのようないちごがおいしく感じるのか調査。加えて、(株)アタゴの飯岡優菜担当による糖酸度計の実演・体験も行われました。

また、いちごのおいしさの伝え方を学ぶため、(株)味香り戦略研究所の小柳道啓代表取締役社長に講演いただきました。さらに希望者に対しては、農林総合研究センター野菜研究室いちご栽培圃場の視察も行われました。

引き続きＪＡ全農ちばは、関係機関と連携し、生産者の営農支援に取り組んでまいります。

組合員の皆様にJA-SSよりお得な情報です!

JA SS

千葉県限定キャンペーン

千葉県内のJAセルフSSにてPayPayでお支払いすると

対象店舗

プラザR128SS・ジャスポート和田・ジャスポート千町・ジャスポート中根・ジャスポート勝浦・ジャスポートさだもと・ジャスポートこいと・ジャスポートおびつ・ジャスポート睦沢・ジャスポート白子・ジャスポート高滝・NACS酒々井・ジャスポート大栄・ジャスポート神里・ジャスポート府馬・ジャスポート多古・ジャスポート共和・ジャスポート海上



PayPay
ポイント

最大10%

戻ってくる (1回まで)

期間 金
2月20日
月・祝
2月23日



2月20日から23日に左記店舗での給油時にPayPayで決済いただくと最大10%のポイントが戻ってくるキャンペーンを実施します!
左下QRコードからクーポンを取得してお得に給油しちゃいましょう!
初めてで利用方法がわからないという方もスタッフが対応しますので安心してご利用ください!

皆様のい来店
お待ちしております!



アプリから事前にクーポンをゲット

※条件・上限・開催期間があります。詳細はアプリ内のクーポン詳細画面をご確認ください。【付与上限】300ポイント/回、期間中1回付与※付与されるPayPayポイントはPayPay/PayPayカード公式ストアで利用可能。出金・譲渡不可。※早期終了する場合があります。※複数のキャンペーンが適用される場合、付与率は最大66.5%となります。詳細はPayPay HPをご覧ください。
【クーポン発行者】全国農業協同組合連合会 【業務委託者】PayPay株式会社

お知らせ

J A全農ちばは、「アグリ情報“ちば”」が生産者の皆さまとの情報交換の場となるよう努めて参ります。
身近な話題、ご意見、ご要望などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

アグリ情報“ちば”に係る 個人情報の取り扱いについて



組合員の皆さまからご提供いただきました個人情報
は、「アグリ情報“ちば”」送付の目的にのみ使用
いたします。

発行/全国農業協同組合連合会千葉県本部 令和8年2月15日発行(毎月1回15日発行) 通巻第188号
編集・発行部署/管理部 総合企画課
〒260-0031 千葉市中央区新千葉3-2-6 電話043-245-7360 FAX043-247-9715

「アグリ情報ちば」の宛名・送付先の変更や送付の停止をご希望の方は、J A全農ちばホームページの
お問い合わせページにご住所・お名前を明記のうえご連絡ください。
新規お申込みをご希望の場合は、お電話にて承ります。

JA全農が提供するラジオ番組

ZEN-NOH COUNTDOWN JAPAN 13:00~13:55 毎週 **生放送**
全国の農畜産物をプレゼントします。

**未来つなご
ぶらりパワー**
15:50~16:00 毎週
生産者の声や開発の道のりなど商品の魅力を紹介します。

**SCHOOL OF LOCK!
THURSDAY 23:00**

農業部

Supported by **全農**

23:00~23:06 毎週
農業について一緒に楽しく学びましょう。

送付先の変更・停止



JA全農ちば
公式HP



JA全農ちば
公式Instagram

